

経過概要

一ノ瀬俊也

1 目的

国立歴史民俗博物館では、一九九五～二〇〇〇年度の六年間にわたり、基幹研究「歴史における戦争の研究」と題して、歴史学・考古学・民俗学・文化人類学・生物学・人類学という幅広い学問分野の研究者が学際的に「戦い」を考察した。のべ二六名の研究者による個別研究「近現代の兵士の実像」はそのB班として一九九六年度～二〇〇〇年度の五年間、近現代における戦争の問題を重点的に、「戦争と民衆」という視点から解き明かすべく研究活動を行った。我々が過去の戦争とどのように向かい合うのが社会的・国際的に鋭く問われている現在、近代日本と戦争との関わりを総体として、学問的にとらえ直すことが急務であるとの問題意識に基づいてのことである。キーワードとして設定したのは「兵士」である。彼らはどのように訓練され、戦地で戦い、死んで慰霊されていったのか、その時々々の彼らや周囲の人々の意識を問い直すことで、なぜかくも多くの人々が近代の戦争で死んでいったのかを解き明かすことができるのではないか、というのがその含意である。

具体的には、軍事郵便・軍人墓地という二つの問題を取りあげることとした。

まず軍事郵便については、戦地と銃後を行き交った便りの文面から、書き手の心情、戦地の実情を解明できるのではないかと考えた。むろん

検閲の問題はあるが、なにが「書くことを許されたのか」を知ることが、そのまま人々がどのように（あるいはどのような）型にはめこまれていったのかを知ることにつながる。具体的には、岩手県北上市高橋家に残された七〇〇〇通以上の軍事郵便と「真友」なる「銃後だより」の分析を行った。

軍人墓地——兵士の慰霊の問題については、大阪市の真田山陸軍墓地を対象に分析を行った。具体的な成果は本特集号「近現代の兵士の実像」I、II掲載の総論および諸論考を参照されたいが、本研究の過程では特に、関連する諸資料・データの集約に意を用いた。現在真田山陸軍墓地に関して保存活動が活発化してきている（具体的な動向は、森下徹「真田山陸軍墓地とその保存を考える会」に参加して）『日本史研究』四七二、二〇〇一年一二月を参照）など、徐々に風化・失われつつある戦争に関わる記憶・資料を保存と伝承していく試みが現在各地で行われている。本特集号がその一助となれば幸いである。

2 研究組織（終了時 以下敬称略）

藤井忠俊 駿河台大学非常勤講師（研究代表者）

赤澤史朗 立命館大学法学部（九七年度より参加）

今井昭彦 埼玉県立熊谷女子高校

大西比呂志 横浜市史編纂室

小田嶋恭二 北上市役所（九八年度まで北上市立博物館）

鹿野政直 学識経験者（九八年度まで早稲田大学文学部）

我部政男 山梨学院大学法学部

吉良芳恵 日本女子大学文学部（九八年度まで横浜開港資料館）

佐野賢治 筑波大学歴史・人類学系

佐藤憲一 仙台市立博物館

高木博志 京都大学人文科学研究所（九八年度まで北海道大学文学部）

波平恵美子 お茶の水女子大学文教育学部（九九年度より参加）

原田敬一 佛教大学文学部（九八年度より参加）

松本博行 名古屋博物館

本康宏史 石川県立歴史博物館（九八年度より参加）

宮寄順子 東京女子医大資料室（九八年度より参加）

山辺昌彦 立命館大学国際平和ミュージアム

横山篤夫 大阪府立岸和田高校

米田俊彦 お茶の水女子大学文教育学部（九七年度より参加、同年度まで東京女子大学文学部）

高橋 敏 本館歴史研究部

新谷尚紀 本館民俗研究部

新井勝紘 本館歴史研究部（館内事務担当）

栗津賢太 本館COE非常勤研究員（九九年度より参加）

関沢まゆみ 本館民俗研究部（九八年度より参加）

一ノ瀬俊也 本館歴史研究部（九八年度より参加）

研究協力者

宮本正明（本館リサーチ・アシスタント、早稲田大学大学院）

3 経過

一九九六年度

岩手県北上市、大阪市の現地調査を行い、軍人墓地については大阪真田山に限らず全国に同様の墓地が多数あるので、比較検討する必要があることが確認された。軍事郵便については北上市内の所蔵者および関係者宅から大量の関連資料が発見され、その整理分析・解説という課題が浮上してきた。

第一回研究会 一九九六年七月一三・一四日 国立歴史民俗博物館

藤井忠俊「動員をめぐる軍隊と民衆」

大西比呂志「現代史における戦争―地域史研究の現状」

小田嶋恭二「軍事郵便と兵士」

第二回研究会 一九九六年一〇月一九～二一日 大阪真田山陸軍墓地

横山篤夫「大阪靖国陸軍墓地について」

林耕二・福林徹「終戦時の墜落米軍機捕虜搭乗員処刑事件について」

て」

大阪靖国霊場維持会会員からの聞き取り調査

第三回研究会 一九九七年二月二三・二四日 国立歴史民俗博物館

藤井忠俊「戦争研究の問題点」

横山篤夫「真田山陸軍墓地調査その後」

同「南河内郡野田村遺族会が一九四八年に建てた一六九基の墓碑について」

新井勝紘「軍事郵便について（歴博購入資料を中心に）」

松本博行「名古屋および豊橋の陸軍墓地について」

佐藤憲一「仙台陸軍墓地調査報告」

第四回研究会 一九九七年三月二三～二五日 岩手県北上市

「和私のペン」会員からの七〇〇〇通の軍事郵便の整備状況に関する聞き取り調査

高橋良八家(北上市和賀町)所蔵資料・七〇〇〇通の軍事郵便と関連資料の調査

平和観音堂の調査

和賀町遺族会横川目支部会員からの聞き取り調査

横川目笠松の忠魂碑と遺骨堂調査

北上市相去町の浅永達家所蔵資料調査と聞き取り

一九九七年度

軍事郵便については、所蔵者宅ほかの悉皆調査を実施し、多くの関係資料を確認できた。特に、郷土通信『真友』の全号を新たに発見できたことは大きな成果であった。大阪陸軍墓地に関しては、正確な墓数を確認するとともに、平面図にその配置状況をおとすことができた。また、「埋葬人名簿」が現存していることも新たに確認できた。こうした基礎的な調査研究を踏まえた上で、次年度以降の研究体制を組織することが確認された。

第五回研究会 一九九七年一月三〇日、二月一日・二日 岩手県北上市

宮本正明「雑誌『真友』について」

吉良芳恵「長野県佐久市旧平賀村役場文書(兵事関係資料)について」

て」

高橋良八家収蔵庫・平和観音堂の悉皆調査

第六回研究会 一九九八年一月二四～二六日 愛知県名古屋市・同南知

多郡知多町・大阪真田山陸軍墓地

知多町「中の院」石製軍人立像(六九基)調査

名古屋市千種区平和公園名古屋陸軍墓地調査

大阪真田山陸軍墓地調査(墓石数確認)

横山篤夫「南河内郡野田村遺族会建立の墓碑一六九基について」

原田敬一「旧陸軍墓地と陸海軍埋葬地制度について」

大阪真田山陸軍墓地納骨堂内の確認調査

箕面忠魂碑違憲訴訟原告団・古川佳子氏よりの報告

藤井忠俊「山口陸軍墓地調査報告」

一九九八年度

前年度までの成果を踏まえながら、軍事郵便・陸軍墓地のより深い調査分析を試みた。関係者からの聞き取り、他の陸軍墓地との比較(国内外を通じた)およびこれまであまり手を着けられてこなかった慰霊の問題にも調査・研究を進めていくことが必要であるとの議論がなされた。

第七回研究会 一九九八年六月一三～一五日 岩手県北上市

高橋峯次郎関係資料の整理・目録作成

今井昭彦「近代日本における戦死者祭祀の問題」

松本博行「旧名古屋陸軍墓地の管理について」

本康宏史「軍都」における慰霊空間

関沢まゆみ「出征兵士の家族と神社祭祀」

一ノ瀬俊也「日中戦争期以降における地域的軍事援護の展開と機能」

能」

第八回研究会 一九九八年九月二二～二四日 静岡県志太郡岡部町常昌

院、大阪真田山陸軍墓地

常昌院日露戦争兵士像(二二三体)の調査

大阪真田山陸軍墓地の調査・大阪靖国霊場維持会会員からの聞き取り調査

り調査

鹿野政直「青木一著『一日一信 戦地から妻への一六〇〇通の葉書』について」

書」について」

本康宏史「大江志乃夫著『兵士たちの日露戦争』について」

新井勝紘「アーリントン国立墓地について」

新井勝紘「『農民兵士の声が聞こえる』について」

宮本正明「西島昇著『連作の内 上町台地——真田山陸軍墓地 男たちの挽歌』について」

一ノ瀬俊也「大阪真田山陸軍墓地「埋葬願」「埋葬人名簿」について」

一ノ瀬俊也「菊池敬一『七〇〇〇通の軍事郵便』について」

第八回研究会 一九九八年二月五・六日 国立歴史民俗博物館・早稲

田大学総合センター

北上市にて借用した軍事郵便・常昌院兵士像の概要報告

早稲田大学「プラング文庫」展覧学、シンポジウムへの参加

第九回研究会 一九九九年三月一三・一四日 国立歴史民俗博物館

「歴史における戦争の研究」A班と合同の研究会

一九九九年度

これまで主に文献・墓石についての調査を行ってきたが、今年度は実際に従軍し軍事郵便を書いた元兵士へのアンケート調査、大阪真田山の慰霊祭参加遺族へのアンケート調査を実施した。その結果、文献だけではどうしても限界のある、当時の詳細な状況や人々の心情についての知見を深めることができた。

第一〇回研究会 一九九九年七月三～五日 石川県金沢市

石川県立歴史博物館、旧師団長官舎、旧偕行社などの見学

金沢市内の野田山陸軍墓地、卯辰山招魂社跡、東山真成寺調査、護

国神社、金沢城跡の調査

横山篤夫「真田山陸軍墓地の成立と推移に関する試論」

佐野賢治「戦争に関する文化項目、戦争と民俗、一従軍画業兵の従

軍画とその背景」

栗津賢太「イギリスにおける戦没記念碑」

第一一回研究会 一九九九年一〇月二六～二七日 大阪真田山靖国軍人墓地

同墓地における慰霊祭の映像記録作成・参列遺族へのアンケート調査実施

第二二回研究会 二〇〇〇年一月三〇～三十一日 岩手県北上市

北上市出身の元兵士に対する聞き取り調査

第一三回研究会 二〇〇〇年二月二六・二七日 国立歴史民俗博物館

赤澤史朗「『戦没農民兵士の手紙』をめぐる論争」

横山篤夫「真田山陸軍墓地アンケート調査の報告」

真田山陸軍墓地慰霊祭映像資料の上映

二〇〇〇年度

前年度に引き続き、北上市にて従軍体験者へのインタビュー調査を行った。また、成果集約に向けての議論を行った。

第一四回研究会 二〇〇〇年七月一～三日 岩手県北上市

北上市博物館、高橋良一氏宅調査および市内従軍体験者への聞き取

り

第一五回研究会 二〇〇〇年八月二六～二七日 大阪真田山陸軍墓地

同墓地改装工事に伴う現地調査

第二六回研究会 二〇〇一年三月一七～一九日 国立歴史民俗博物館

波平恵美子「近代の戦死者の扱いについて」

『国立歴史民俗博物館研究報告』特集号刊行に関する議論